

浦幌アイヌ協会

大学にもちさらられていた
ご先祖の遺骨を慰霊する
イチャルパ



2018年8月19日(日) 10:00 - (雨天決行)

大学にもちさらられていたご先祖の遺骨を慰霊するイチャルパ

会場 浦幌町浜厚内生活館 浦幌町字チプネオコッペ 1-22 ☎ 015-578-2235

主催 浦幌アイヌ協会 ☎ 015-578-2246 (差間正樹会長)

協力 コタンの会、北大開示文書研究会、アイヌ遺骨返還訴訟弁護団

浦幌アイヌ協会

大学にもちさらられていたご先祖の遺骨を慰霊する **イチャルパ**

2018年8月19日(日曜) 浜厚内生活館

10:00-11:00 イチャルパ(祖先を慰霊する儀式)

○会場では主催者スタッフの指示に従ってください。厳粛な儀式の平安を乱すような行為の方には退場をお願いする場合があります。

北海道大学から浦幌アイヌ協会に返還される遺骨について

浦幌町・愛牛コタンの墓地は、1934年(昭和9年)10月下旬、北海道(帝国)大学医学部解剖学第二講座の児玉作左衛門教授らによって、墓暴きの被害を受けました。和人学者は「アイヌのための研究」とうそぶき、コタンの人たちの同意も得ずに多数の墓を暴いて、大勢の遺骨を掘り返し、持ち出しました。大学に送られた遺骨は、児玉教授の研究室に頭蓋骨コレクションとして陳列されるなど、長らく同大学構内に留め置かれていました。浦幌アイヌ協会による返還請求訴訟が昨年3月、札幌地裁で和解に達し、ようやく返還が実現しました。同年夏には63人分と人数不明の遺骨合わせて82箱の返還を受け、町営浦幌墓園でアイヌプリの再埋葬を執りおこないました。今回は、残る13人のご先祖たちのご遺骨を84年ぶりに故郷にお迎えします。



協賛金を受け付けています。どうぞご支援をお願いします。

郵便振替02750-3-71188(浦幌アイヌ協会)

郵便振替02730-2-102357(コタンの会)